

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

平成22年度

施設評価調書

施設の名称……吉佐美運動公園

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成22年7月

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立吉佐美運動公園		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係			
3 所在地	下田市 1900 番地の 1		4 設置年月	昭和 49 年 1 月			
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ 人財づくり	自ら学ぶ歴史のまちづくり	スポーツ				
	施策体系	スポーツ施設の整備・充実	既存施設の整備・充実				
	主要事業						
6 設置目的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図り、かつ、市民の健全な憩いの場として活用する。						
7 設置根拠	下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例						
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 全体面積 17,853.83 m ² 運動広場 9,663.35 m ² 駐車場 50 台程度 トイレ男女障害者 運動公園 野球場レフト側 110m、センター 80m、ライト側 90m					
	実施事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 昭和 49 年から、国有地を占用し「下田市立総合グラウンド」として整備し、以後、市内屋外体育施設の中核をなす役割を担ってきた。 平成 15 年度に国有地の 1/3 を払い下げ、2/3 を無償貸与という契約を締結し、その条件として平成 20 年 3 月 11 日を期限に運動公園の整備を進めてきた。(整備事業概要-トイレ兼器具庫改築、防球ネット設置、駐車場整備) 平成 16 年度から、名称を「下田市立吉佐美運動公園」と改め、体育施設と公園施設の性質を併せ持つ社会教育施設として活用を図っている。 					
	料金体系	料金区分	<ul style="list-style-type: none"> 運動公園使用料 				
		主な料金	利用時間区分		午前	午後	1日
			利用者区分		8:30~12:30	12:30~17:00	8:30~17:00
			一般	市内	1,400 円	1,600 円	3,000 円
				市外	2,800 円	3,200 円	6,000 円
	高校生以下	市内	700 円	800 円	1,500 円		
		市外	1,400 円	1,600 円	3,000 円		
	減免内容	<p>(使用料の減免)</p> <p>第9条 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。</p> <p>2 前項に規定する使用料の減免は、次に定めるとおりとする。</p> <p>(1) 下田市が主催し、又は委託する事業で使用するとき。 全額免除</p> <p>(2) 下田市内の保育所、幼稚園又は小中学校が、園児、児童又は生徒の保育若しくは教育のために使用するとき。 全額免除</p> <p>(3) 官公署、公益法人又は報道機関が、公益事業のため入場料を徴収しないで使用するとき。 全額免除</p> <p>(4) 前各号に定めるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。 市長が定める額</p>					
利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
施設運営方法	<input type="checkbox"/> 直接運営						
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容		清掃管理			
直接従事職員	下田市職員数 0.033 人工 委託団体職員数 エルダーの会						
9 市内の類似施設	下田市所有 民間所有	敷根公園、学校屋外体育施設 なし					

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成21年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設年度翌年から償却 ・耐用年数 50年 市債は防球ネット、駐車場等整備に係るものを含む。		
	土地取得費	57,700,000	土地残高				
	建物取得費	21,067,200	建物減価償却後残高	18,960,480			
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債	27,100,000	市債残高	27,100,000			
	一般財源						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度予算	
	収入	吉佐美運動公園 使用料	275,850	254,800	270,429	201,000	
	収入合計						
	支出	11節 需用費		173,918	212,814	284,711	
		消耗品費		32,660	33,936	127,674	87,000
		印刷製本費		1,890	0	5,294	20,000
		光熱水費		129,971	149,478	128,118	130,000
		燃料費		9,397	0	0	10,000
		修繕料		0	29,400	23,625	30,000
		12節 役務費		68,752	72,001	73,150	77,000
		13節 委託料		702,450	702,450	702,555	703,000
		17節 公有財産購入費		0	0	0	0
	支出 公園整備事業	11節 需用費		0	0	0	0
		12節 役務費		0	0	0	0
		13節 委託料		0	0	0	0
		15節 工事請負費		1,375,500	0	0	0
	支出合計			2,320,620	987,265	1,060,416	1,057,000
減価償却費			421,344	421,344	421,344	421,344	
市債利子			523,476	534,099	526,088	492,450	
事務に係る職員人件費			208,902	209,058	219,734	223,225	
下田市負担年間総経費			3,198,492	1,896,966	1,964,166	1,993,019	
備考	○ 人件費は、1/40人工として職員人件費平均から算出したもの						
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度	
		利用者数	5,367人	4,570人	5,444人	人	
		参考:利用単位当たり市負担額	595.96円	415.09円	360.79円	円	
		11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	休業日	12月29日から1月3日まで					
使用時間	午前8時30分から午後5時まで						
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果			
	直近の実施時期						
	調査手法						
	調査数						

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美運動公園

番号 25

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	利用者数の目標値	人	6,700人	6,700人	6,700人	5,444人
	〃の実績	人	5,367人	4,570人	5,444人	
	目標達成度	%	80.10%	68.21%	81.25%	
選択した指標	<input type="checkbox"/> 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 平成21年度までは、過去10年間の最高値（H13 6,700人）を目標値として設定。 平成22年度からは、前年度実績を目標値として設定。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民の健康増進とレクリエーションの振興と憩いの場の提供	公園であるため占有使用以外に不特定多数の利用があり施設活用による達成度合いが判断しにくい。			
	代替指標	施設利用者数	有料部分の利用者数			

（参考）

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標		区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
活動指標①	目標指標 使用料収入	目標値	円	257,000	275,850	254,800	201,000
		実績値	円	275,850	254,800	270,429	
		達成度	%	107.3%	92.3%	106.1%	
	目標指標の考え方	積極的な施設利用の指標として使用料収入額を用いる。 平成19年度までは、過去9年間の最高値（H13 257,000円）を目標値として設定。 平成19年度に最高値を更新した為、平成20年度は19年度の数値を設定。 平成21年度からは、大規模整備事業終了後の平成20年度実績を目標値として設定。					
活動指標②	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標③	目標指導	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						

平成22年度

施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園
----------	-------------

番号	25
----	----

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	施設の総利用者数等①		人	5,367人	4,570人	5,444人	
	年間経費②	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	2,320,620	987,265	1,060,416	0
	利用単位当たり経費	②÷①	円/人	432.39	216.03	194.78	
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等に用いた指標について記載してください。	申請における利用者数を集計して総利用者数としている。運動公園になり占用以外の使用は自由となったため、占用以外のトイレのみの利用等は含まない。	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。	H15 公有財産取得費を含む H16 トイレ兼器具庫設計費含む H17 トイレ兼器具庫建設工事費含む H18 防球ネット設置工事費含む H19 駐車場整備工事費含む。				
その他の指標							
		区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
目標指数①	目標指数 の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数②	目標指数 の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数③	目標指数 の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	2,320,620	987,265	1,060,416
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	275,850	254,800	270,429
	③受益者負担比率	②÷①	%	11.89%	25.81%	25.50%
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	393,700	343,200	88,500
	⑤補正受益者負担比率	④÷①	%	16.97%	34.76%	8.35%

【参考】

運営に掛かる税負担（市民負担）	年度		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度(予算)
	人口（4月1日：人）		26,197	25,802	25,549	25,427
	人口1人あたり（円/人）	78	28	31	31	34
		122	74	77	77	78

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況	
施設方向性の判断視点	①	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	概ねされている。
			住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ会場として市民の健康増進、レクリエーション活動の拠点提供。 ・公園として憩いの場を提供。
			将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設は、海水浴場に隣接し自然環境に恵まれた運動公園施設である。 ・利用率の高い敷根公園健康広場の補完的な施設としての需要がある。 ・類似施設と連携した運営が図れると、より質の高いサービスの提供が期待できる。 ・緊急的なヘリコプターの発着も可能で、災害時における活用も期待できる。
	②	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	平成17～19年度で公園整備事業が終了。当面のところ大規模な修繕計画は無い。
			施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	施設内に管理棟が無いため、利用者との接点は施設使用前後の電話での問い合わせや、使用料收受の際に行っている。
	③	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	市施設では敷根公園が設置されているが、民間施設で競合するものは無い。
			民間においても十分可能な施設なのか	十分とは言えないが、他施設との複合的管理能力があると可能。単体の施設としては公園としての側面もあり、採算面を考慮すると資金力のある公的な管理主体が望ましい。
	④	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどのようなものか	適当と判断するが、大規模な整備計画が終了後の平成20年度数値を基準に、検証していく。
			同種施設との比較、近隣施設との比較はどのようなものか	使用料は、敷根公園の約1/2である。 健康広場 全面使用1日：市内6,400円
			計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどのようなものか	大規模整備終了後の平成20年度数値を基準に、利用者数の目標値を再設定した。
			施設の耐用年数は何年有るのか	トイレ兼器具庫 W造1階 20～22年
			施設の今後の維持経費の算定はどのようなものか	突発的な事態が無ければ、大規模整備事業終了後の数年間は、経常経費が安定して推移していくと推測される。

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美運動公園

番号 25

行政規模からの判断視点	①	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	妥当と判断する。
			現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	採算性、施設の設置目的から、単独の施設としては現行の管理運営形態が妥当。
	②	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	されていない。
	③	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	運動施設と公園との両機能面から考えた場合困難。
			老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	公園整備事業が終了し間もないため、改築廃止の予定は無い。
地域、民間に譲渡できないのか			現状の管理運営形態のまま継承すると、採算性が薄く、地域や民間では維持困難。敷地内の一部は、国有財産の無償貸付の契約が交わされている。	
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	方法によっては可能。	
その他				敷地内の一部（17,854.82 m ² のうち11,902.80 m ² ）は、平成16年3月に国有財産無償貸付を受けており、契約条項として用途の指定がある。

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	運動施設と公園という二つの性質を併せ持ち、非営利で公共性の高い施設であることから、行政主体の管理運営が妥当である。
	受益者負担の妥当性	運動施設については、占用使用に係る使用料が条例で規定されている。受益者負担の妥当性と近隣類似施設との整合性の両面から、料金改定について検証を進めていく。
	実施主体の妥当性	直営（一部業務委託）の現行管理体制で妥当と考える。今以上の市民サービス向上、効率性を重視するならば、他類似施設との一括管理等の検討を要する。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	平成17年度から3カ年で公園整備事業を進めてきた経緯があり、現在のところは左記のような方向性はない。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	現在は、軟式野球、グラウンドゴルフの利用が大半を占めているが、設備と管理運営の充実が図れるならば、幅広い体育種目の使用も可能となり、利用者数の増加が見込める。 その他の向上策としては、市主催事業の開催による施設利用機会の創出や、施設案内資料等の充実により、地域内向けのPR等が考えられる。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	公園としての機能もあり、不特定多数の利用もあることから、現状のサービスを維持しながらの経費面における効率化は困難。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	公園整備事業終了後の利用状況を基に、分析、検証を進めていく。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	現在は行っていないため不明。 再利用率の高い施設で、使い慣れた利用者からは大きな不満の声は無い。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	施設内に管理棟が無いこと、また利用頻度の高い土、日、祝祭日に、窓口となる教育委員会が閉庁しているため、利便性には欠ける面があるが、利用者には、事前の使用説明で理解を得ている。 市外者の使用に際しては、郵送による使用許可申請手続きや振込みによる使用料納付の便宜を図っている。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	管理運営に関する全体的な見直しの中で、検討する必要がある。

平成22年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美運動公園

番号 25

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	旧防球ネット一部修繕（ライト側）	約 400,000	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し	
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続等	<ul style="list-style-type: none">市民の健康保持、レクリエーション活動の増進に、今後も必要不可欠な施設である。公園整備事業終了後の施設利用実態を検証し、社会体育推進計画等の中で施設活用の再考を進める。市民のスポーツ志向の高まりに比例し、社会体育施設の必要性もますます高くなると推測されるが、現状で約 5,000 人／年の利用者数は敷根公園健康広場と比較すると約四分の一の利用に留まっている。利便性向上の観点から、類似施設である敷根公園との連携した活用方法などについての検討も必要であると考え。
	<input type="checkbox"/> 縮小等による見直し	
	<input type="checkbox"/> 統廃合を進める	